

RAILWAY JOURNAL 鉄道ジャーナル

1977・7 NO. 126 Vol. 11 NO. 7

●昭和52年 5月20日印刷

●昭和52年 7月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

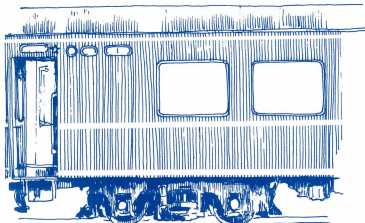
(株) 鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



つい先ごろ‘星の寝台特急’のテレビCMやポスターが目を集め旅心を誘う幻想的な映像や画面が話題を呼んだ。寝台特急にいちど乗ってみたい——そう思った人も少なくないだろう。

だが寝台列車の実態はどうだろうか——？ とても眠るどころではない動揺 停車・発車時の激しい衝撃 必ずしも居住性のよくないベッドと車内設備 そして寝台券購入から躍る心を押えての旅立ちさらには終着駅の改札口を出るまでの 職員のサービスとムード…それは旅情あふれる宣伝に遠くおよばない実態ではないだろうか。昭和33年 画期的な‘走るホテル’〈あさかぜ〉が生まれ 42年に寝台電車〈月光〉が誕生したころの 夢にあふれた設計陣のハートと 時代を先取りしようという営業部門の覇気は どこへ行ってしまったのだろうか…？

赤字に悩む現実はある。だが長距離輸送は明らかに鉄道のシェアであり 新幹線とともに寝台列車が活躍すべき分野である。5年先10年先を見越して鉄道運営——そして寝台列車の体質改善に 今こそ真剣に取り組むべきであろう。

1977-7 もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 安易な新幹線建設論
- 8 ニュース・ファイル (国鉄・民鉄・海外鉄道の動き)

特集●寝台列車のすべて

★特別企画

- 15 さくら行進曲 竹島紀元／永崎祐之
- 50 国鉄の寝台列車 須田 寛
- 59 ‘夜行列車’運転の現状 編集部
- 75 寝台列車の改善について国鉄に提案する 種村直樹
- 82 3等寝台車の創設と寝台車の今後 本山 實
- 84 日本と海外の‘寝台車’雑感 野村 董
- ドキュメント★列車追跡⑩
- 95 10系寝台車つき北陸ゆき急行〈能登〉号 松尾定行
- 103 寝台車 その現実を考える 岡田徹也／木村一男／関口正巳
中村寛一／藤本鉄二／塩治 裕

◎新連載

- 115 装本芸術と汽車 ① 佐々木桔梗
- 139 ディーゼル機関車とわたし ① 高田隆雄

- 125 トップ・アングル
- 127 レールファンノートから②③ 列車よ、‘時’を刻め 本島三良
- 146 車両とともに30年(7) 田邊幸夫

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(128)◆新刊紹介(129)◆魚眼／ズームレンズ(130)◆「くろがねの馬」が科学技術映画祭に入選(131)◆タブレット(132)◆読者論壇(134)◆Q & A／鉄道友の会だより(135)◆車両基地／伝言板(136)◆R J クイズ／鉄道記事ざっくばらん(137)◆次号のお知らせ／こちらジャーナル編集室／乗務員室(138)

表紙写真／星の寝台特急——〈さくら〉 (名古屋駅で 下り1本)

’77-3-16 カメラ・永崎祐之

特大号 特価600円
〒60円